

### 第3回三重県地球温暖化対策実行計画推進委員会の概要について

1. 日時 平成29年9月11日(月) 10:00~12:15
2. 場所 三重県勤労者福祉会館 4階 第3教室
3. 出席者 9名

浅井 敬介	中部経済産業局資源エネルギー環境部エネルギー対策課長
木塚 晴久	四日市市環境部 環境保全課 環境調整係長 (市川委員(四日市市環境部 環境保全課長)の代理出席)
伊藤 信彦	一般社団法人三重県トラック協会 専務理事
小林小代子	三重県食生活改善推進連絡協議会 会長
○ 寺田 卓二	環境教育ネクストステップ研究会代表 (元四日市中央工業高等学校長)
永井 均	中部地方環境事務所環境対策課長
長岡 信治	四日市地域環境対策協議会 代表 (上野製薬株式会社 環境保安課長)
西村 統武	マックスバリュ中部株式会社 人事総務部長
◎ 朴 恵淑	三重大学人文学部・地域イノベーション学研究科教授 地域 ECO システム研究センター長

敬称略・50音順 ◎：委員長、○副委員長

#### 4. 概要

##### (1) 三重県地球温暖化対策実行計画の進捗状況について(事務局)

- ・温室効果ガスの排出状況(平成26年度排出状況)確定値
- ・平成28年度における温室効果ガス削減に向けた取組状況
- ・今後の温室効果ガス削減に向けた取組方向

##### (2) 取組事例報告

###### ①環境教育ネクストステップ研究会(寺田副委員長)

四日市市を中心に活動し、教育現場でのESDを推進している。教員向けの研修やESDカレンダーの作成で支援している。

###### ②マックスバリュ中部株式会社(西村委員)

事業のCO<sub>2</sub>排出の98%が電気の使用に由来する。CO<sub>2</sub>の排出対策として太陽光発電やLED照明の導入を進めている。店内照明については全店LED化が完了している。

### (3) 委員からの主な意見

電気自動車の充電インフラについては、計画性を持って整備を進めてもらいたい。

LED 照明の普及は、例えば東京都では、白熱電球 2 個を持参すると、LED 電球 1 個と交換するという施策を行っている。三重県でも工夫して取り組んでほしい。

カーボンオフセットについては、今年菓子博で取り組んだが、来年度に三重県でインターハイが実施されることから、多くの人が集まるイベントの際に実施するとより効果があり、制度の PR につながるのではないかと。

電気自動車による低炭素社会の推進については、伊勢市における成功事例を一過性に終わらせないように、電気自動車や LED 普及等、複合的に取り組み、取組地域数の増加に取り組んでほしい。

民生業務部門として、LED 照明を導入する目的の第一は経済効果である。LED 照明は以前に比べて安価になっているので、事業者や一般家庭において経済効果を得やすく、導入を促進していくことが必要になってくる。

SDGs については、広い視野を持って、世界の環境が良くなっていくのであれば取り組んでいくべきである。その一方で SDGs は、地球温暖化対策だけで取りまとめいけないものではなく、多様な分野と協働して取り組んでいく必要がある。

段ボール箱の大きさの規格化が図られれば、輸送効率が向上し、CO<sub>2</sub> 排出削減につながる。また、内容物に影響がなくても、梱包の一部損傷による返品があり、商慣習のあり方について、荷主が改める必要がある。

県は、あらゆる方向にアンテナを張って様々な情報を収集し、市町等へ情報提供することにより、より良いシステムを導入できるようにしてほしい。